

広島市植物公園 見どころ案内

2024年1月5日
通巻第606号

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

① 展示資料館
新春小品盆栽展 (1/6~1/8)
植物写真コンテスト作品展
(1/13~2/12)

② 展示温室
冬の鉢花展 (1/6~2/4)

クロマツの雪吊り

雪に備えて、日本庭園のクロマツに雪吊り^{しつら}を設けています。冬の風物詩をお楽しみください。

ナンテン (メギ科)

中国、インドが原産と言われています。「難を転じて幸福を招く」という花言葉があり、おせち料理の飾りや、お祝いの赤飯に添えられることがあります。

リュウゼツラン (リュウゼツラン科)

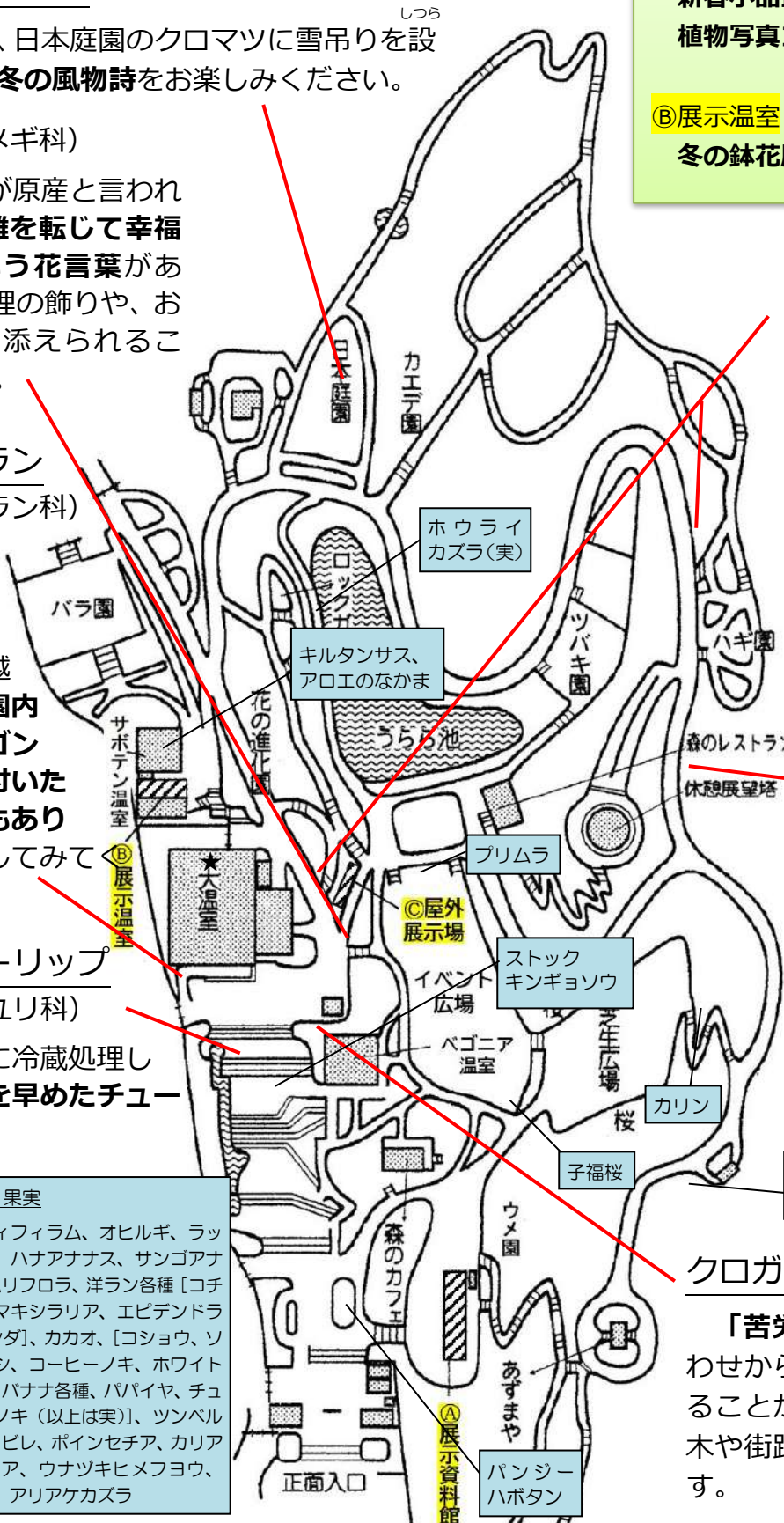
今年の干支は辰です。サボテン温室の前からお引越しました。園内には竜やドラゴンなどの名前が付いた植物がほかにもあります。ぜひ探してみてください。

アイスチューリップ (ユリ科)

球根を夏場に冷蔵処理して、開花時期を早めたチューリップです。

★大温室で見頃の花・果実

アンズリウム、スパティフィラム、オヒルギ、ラッセリア、オウコチョウ、ハナアナナス、サンゴアナナス、モノルナ・プリムリフロラ、洋ラン各種 [コチヨウラン、カトレヤ、マキシラリア、エピデンドラム、オンシジウム、パンダ]、カカオ、[コショウ、ソーセージノキ、ゴレンシ、コーヒーノキ、ホワイトサボテ、アメタマノキ、バナナ各種、パパイヤ、チューインガムノキ、パンノキ (以上は実)]、ツンベルギア、ジャスミンム・ノビレ、ポインセチア、カリアンドラ、ブーゲンビリア、ウナツキヒメフヨウ、パボニア・グレヒリー、アリアケカズラ



マンリョウ

(サクラソウ科)
万両と書くことから縁起物として正月の盆栽にも使われます。ちなみに「両」の名前が付く植物がほかにも知られており、一両 (アルドオシ・アカモノ)、十両 (ヤブコウジ)、百両 (カラタチバナ)、千両 (センリョウ)、万両 (マンリョウ) が実在します。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)
冬に葉が枯れても、枝についたまま春に新芽が出るまで、葉は落ちません。これにあやかり、売店で、合格祈願のお守りとして販売しています。がんばれ！受験生！

クロガネモチ (モチノキ科)

「苦勞をせず金持ち」の語呂合わせから、縁起物として植栽されることがあります。西日本では庭木や街路樹として広く利用されます。

❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❖
❖ 1月6日(土)、1月23日(火) 午前11時～は、職員による植物うんちく語りを実施します ❖